

一般演題 3-3

中国・四国地方における高気圧酸素治療装置稼働施設のMAP作成

羽田正彦¹⁾ 鶴田良介²⁾ 米田勝明¹⁾ 山崎功晴³⁾
氏家良人⁴⁾

- | | |
|----|-------------------------|
| 1) | エア・ウォーター株式会社 医療カンパニー |
| 2) | 山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター |
| 3) | チェスト株式会社 ベンチレーター事業部 |
| 4) | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 救急医学分野 |

【はじめに】

日本高気圧環境・潜水医学会中国四国地方会は、平成22年3月に岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学分野の氏家先生を大会長として、設立総会及び第1回学術集会在開催された。

第2回は山口大学医学部附属病院脳神経外科の鈴木先生、第3回は鳥取大学医学部附属病院高気圧酸素治療室の斉藤先生を大会長とし本年3月に開催された。

本地方会は、高気圧酸素治療装置を保有する、施設間同士の関係者が集い、意見交換と情報を共有する場所となった。

その中で、平成21年6月に山口県美祢市の修学旅行の小学生ら22名が、一酸化炭素中毒を発症する事故にて、その受け入れ先となった山口大学医学部附属病院での、昼夜を問わず第1種装置での治療に奔走された経験を元に、同病院先進医療救命センターの鶴田先生の提言にて、近隣地域のHBO稼働施設が直ぐに分かるMAPの作成依頼が理事会で承認され、その素案を作成した。

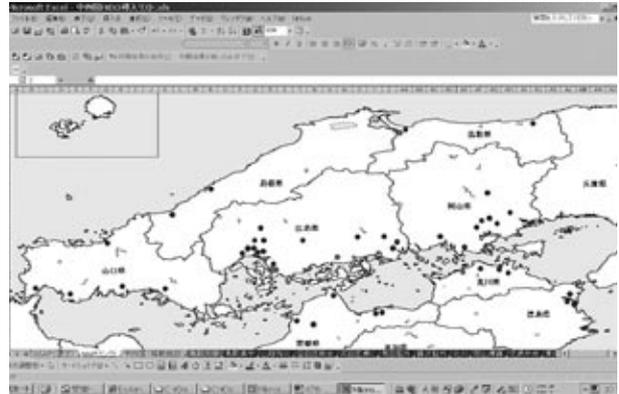
【方法】

MAPの作成にあたってのデータは、高気圧酸素治療安全協会が発行する「安全協会ニュース」に掲載されており、会員からの入会・退会届や製造販売業者からの報告で毎年更新されている。今回の目標は、この情報をMAP化するとともに、施設関係者が有効利用する為の情報までの表示が必要と思われたが、その記載に際しては本人及び施設長の了承が必要となるため、そのたたき台として着手した。

【結果】

MAPは、Microsoft Excelにてインターネット上で入手した素材地図を貼り付け、第1種装置を青色、

第2種装置を赤色に区分して、2種類のシートを作成した。



一つシートは、Excelの「コメント表示」機能にて、カーソルを合わせれば施設情報(施設名、住所、電話番号)が表示されるもので、簡便なものとした。

もう一つは、施設一覧表及び各個別施設のシートとリンクするもので施設マークをクリックすることで、その施設個別のシートにリンクするものとした。

施設シートに書き加える情報は、各施設間での担当者の交流をもとに個人ベースで更新できるが、このMAPを高気圧酸素治療が必要な事態の時、その当事者が活用できるようなものにするためには、関係者の理解と協力が必要となる。

【結語】

HBOの導入施設情報は、高気圧酸素治療安全協会の安全協会ニュースで更新されているが、その情報を活用する働きまでには至っていない。

今後このMAPを有効利用できるものに完成させていく為に、各施設の施設長の了承を得て、窓口担当者等を表示することで、お互いの顔が見える関係と情報を共有するネットワークが出来上がる。

又地域の消防署をはじめとする救急搬送関係者やHBOを保有していない救急施設等にも提供することで、HBO適応患者の効果的な搬送の手助けになると考えられる。

今後この情報をインターネット上で公開し更新する仕組みをつくり、消防・救急関連や潜水関連の団体(学会)とのリンクができるよう働きかけていきたい。

【参考文献】

安全協会ニュース第39号 2012 Vol.21 No.2